

J H F 理事会議事録

日 時： 2005年12月8日(木) 13:00～17:00

場 所： J H F 事務局会議室（豊島区巢鴨 3-39-4 東都ビル 2F）

1. 議長・議事録作成及び署名人指名

議長： 菊池守男 議事録署名人： 北野正浩 西ヶ谷一志

2. 定足数確認

出席者：出席【理事】荒井健雄 大沢豊 菊池守男 北野正浩 下村孝一
城 涼一 西ヶ谷一志 松田保子

【監事】對馬和也

欠席【理事】関谷暢人 中島吉徳

（出席理事8名、欠席理事2名。今理事会は定足数を満たし成立した）

3. 下村会長挨拶

一応定数を満たし成立してよかったと思います。来年度の議案が多くなってきていますが、柱の部分が少し見えない気がしますので、その点に関し議論をお願いいたします。

4. 審議事項

第4-1号議案 賛助会員の承認

議長 清水フライングダックスから賛助会員のお申込を頂いています。会則も添えられており、ご承認をお願いします。

採決の結果、【賛成6 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、北野、下村、西ヶ谷、松田

第4-2号議案 2006年ハンググライディング日本選手権 in 南陽

議長 山形県連から2006年ハンググライディング日本選手権 in 南陽の申請があります。運営については長い経験もあり問題は無いと思います。

大沢副会長 私に競技委員長の打診があります。ソアリングシステムの金井さんが応援をしてくれています。

採決の結果、【賛成6 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、北野、下村、西ヶ谷、松田

第4-3号議案 2007年パラグライディングアキュラシー日本選手権 in 宮城

西ヶ谷理事 8月理事会で承認された、パラグライディングアキュラシー競技規定を受けて

の申請です。アキュラシー日本選手権は初めてであり、承認していただきたいと思います。

松田理事 日本選手権の場合、前年に同等レベルの大会を実施することになっていたはずですが。

西ヶ谷理事 そのルールはもう無くなりました。但しアキュラシーの JHF 大会は 1 度も経験がないので、一応来年プレをやりたいとのことですが。

松田理事 承認に当って、公式にプレ大会のお願いをした方が良いでしょう。

大沢副会長 2007 年の立候補となっていますが、2006 年実施も可能なのですか？

西ヶ谷理事 可能だとは思いますが、プレ大会もあるので、再来年に向けて、着実に段取りをした方がいいかなと思います。

議長 只今説明がありましたが、この大会の開催を承認するというので宜しいでしょうか。賛成の方は挙手を願います。

採決の結果、【賛成 6 反対 0 棄権 0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、北野、下村、西ヶ谷、松田

第 4－4 号議案 2005 年度教員更新講習会について

議長 4 号議案の説明をお願いします。

添石事務局長 前理事会の案件ですが、審議未了となっていました。

内容については、既にご理解いただいていると思いますが、各都道府県連盟に正式に講習会開催を依頼するため、再度提出させていただきました。

下村会長 特に問題はないので、了解しましたでいいでしょう。

荒井常任理事 審議ではなく協議事項でいいと思います。現在新しい委員を公募しているので、来年 3 月以降についてはなるべく経費を掛けないで実施するべきです。そのためのブロック割や段取りなどのたたき台を決めるべきです。西ヶ谷理事いかがですか。

西ヶ谷理事 私の方で素案を作りましょう。

議長 では西ヶ谷理事に、素案を 1 月理事会までに作成していただくことにし、これより 5 分間休憩に入ります。

… 休憩 …

對馬監事到着。

第 4-4 号議案 理事の辞任について

大沢副会長 茨城県連から中島理事への対処について説明を求められています。

對馬監事 役員が職務上の義務違反、その他役員に相応しくない行為があると認められた時は、理事現在数及び正会員数のおおの四分の三により解任できます。この場合議決前にその役員に対し出廷を求め、聴聞会を開くことが出来る。そのためにはまず文書を出さなければならない。

中島理事へ文書で、辞任を促すかどうかについて、改めて審議した。

採決の結果【賛成 6 反対 0 棄権 0】で、文書で辞任を促すことになった。

賛成： 荒井、大沢、北野、下村、西ヶ谷、松田

会長が 12 月 22 日までに起案し、常任理事会メンバー及び監事で確認した上で発送することになった。

5. 協議事項

5-1 2006 年 FAI 賞候補者推薦について

石川県連から、オノラリー・グループ・ディプロマに白山市の推薦があった。

その他推薦したい団体・個人を、12 月 25 日までに、松田理事迄提出することを確認し、次回理事会で最終決定することになった。

5-2 2006 年度予算案

下村会長から、別紙のとおり、11 月末付収支予算進捗状況について報告がなされた。

この傾向で推移すれば、2005 年度末は、収入が 5418 万円、支出が 5006 万円となり、従来の見込みより 350 万円程度の収入増となる。

また 2006 年度収入については、敷金 150 万円の返還を見込むと 4638 万円と予測される。前回荒井常任理事には 4000 万円で予算編成をお願いしていたが、300 万円程度は増やしても大丈夫と思われる。従って事業費も 500 万円ではなく 800 万円をベースに組んでいただいで結構です。

続いて西ヶ谷理事から、関連する協議事項 5-3（パラ競技委員会の事業計画）について説明がなされた。

その後、来年度事業の各項目ごとに検討を加え、担当理事に改めて予算の申告を求めた結果が別紙の数値である。事業予算合計で 9870 千円となっており、最終の調整を次回理事会で行うこととした。

特記事項

ハングとパラの競技会関連の予算割合は、愛好者比を考慮して、予算を検討していく。大沢副会長から 40：60 という意見が出された。對馬監事からは、補助動力にもそれ相応の予算配分が必要だという指摘もあった。

全ての予算収入は、会計原則上一旦総収入に計上すること。

議長 今年度支出された経費実績を別に出しておいて下さい。予算はその位で、次に協議事項4 共済会の終り方について協議します。

5-4 共済会の終り方／締め

西ヶ谷理事から、埼玉県連及び東京都連質問状に対する回答(案)について説明した。表現を一部替えて、送付することです承された。

共済会閉鎖のための必要資金は、現在積み立てられている貸倒引当金 555 万円と追加約 110 万円、その他にはリース残金 240 万円であることを確認した。また加入者に不安を与えないよう、受け皿となる傷害保険の準備を急ぐようになった。

5-5 2006年パラグライディング日本選手権候補地

協議の結果、静岡県フライヤー連盟に立候補を依頼することになった。

5-6 2006年収益向上のための事業計画

各理事から次のアイデアが出された。

下村会長 20～30 万程度の予算で、現ホームページとは別系統の集客力の高いウェブを立ち上げ会員を増やす。

荒井常任理事 IPPI カードを活用するとともに、付加価値の高い公認スクール制度を導入し、JHF の優位性をアピールすること。またサーマルネット浸透させ、より身近な JHF になることをしなければならない。

松田理事 最新版の教本を作る。準備に 1～2 年要するので今から始めるべき。

西ヶ谷理事 携帯の JHF のホームページを作る。また電力会社にスポンサーになってもらい、安全性啓蒙のパンフレットを作成する。

北野常任理事 新聞社に、大会情報を積極的に提供して掲載してもらう等、一般社会への認知度の向上を図る。JHF レポートの個別郵送を止め、メールを主にして、どうしても紙で欲しい人には、県連やショップを通して渡すようにする。

大沢副会長 スクールは、卵を雛にかえる大事な機関。現状を良く把握し、うまくサポートをすれば会員を増やすことができる。

荒井常任理事 表彰状を出す案があったが、スクールについても、例えば栃木県で一番会員を増やしましたとか、その種の表彰状を出したらよい。

6. 報告事項

別紙のとおり報告があった。

スクール登録制度の無料化について

北野常任理事から緊急提案がなされ、審議の結果、即日無料化を実施することになった。但し A 級技能証発行の特典は、2006 年 4 月 1 日から付与することにする。また一般に公開する前に、既存のスクールへ通知することとし、文書を松田理事が作成することになった。

議長 以上により、本日の理事会は閉会とします。

この議事録が事実と相違ないことを確認し署名、捺印する。

議 長

_____ (菊池 守男)

署名人

_____ (北野 正浩)

署名人

_____ (西ヶ谷 一志)

記録： 桜井 加代子